

■事業報告■

◇「子どもと関わる指導者のスキルアップ研修会」

【平成28年度第1回レクリエーション有資格者フォローアップ研修会
～基本のアイスブレイキング・ゲーム～】



【5月1日（日）山口県セミナーパーク 参加者約80名】

講師に、（公財）日本レクリエーション協会理事の宇田川光雄先生をお招きして行いました。

歌ったり、遊んだり、そして合間には、そのゲームの歴史や成り立ちの物語、あるいは展開法の解説などを、優しい語り口で教えてください、楽しい学びの時間でした。

中盤には、一緒に活動していらっしゃる上石神井児童館館長の内山則子先生から、「紙トンボ」と牛乳パックの切れ端を使った「笛」の作り方を教わりました。



終盤には紙人形劇も見せていただきました。また、「山口の名物」を取り



入れたゲームをその場で作り、皆で遊びました。ゲームのアレンジの仕方次第では、無限の可能性があるとということを体験できました。

お二人の講師のお人柄に触れ、よく笑い、よく動き、心も体も気持ちよい時間を過ごしました。



◇平成28年度チャレンジ・ザ・ゲーム講習会

【チャレンジ・ザ・ゲーム普及審判員養成講習会】

【6月12日（日）東亜大学体育館 参加者14名】

普及審判員および推進員の養成、並びに普及審判員のフォローアップ研修として開催しました。

チャレンジ・ザ・ゲームの概要の説明に続いて、午前中は主に既存の種目を体験しました。

楽しいリードアップゲームで自然に体も心もほぐし、徐々にルール説明をし、記録に挑戦するという指導の流れを、それぞれの種目について体験しました。

午後は、主に昨年度からの新種目、「5人10脚」「スピード・ラダーゲッター」「チームテンカボール」「全身むかでタイムレース」「手のひら健康バレー2分間勝負」を体験しました。

そのあと、模擬記録大会の体験ということで、実際に記録に挑戦しました。それぞれの挑戦の前の真剣な練習の甲斐あって、熱気あふれる記録会となりました。



まとめとして、審判員・推進員としての役割や、大会の開催方法などの説明があり、各種目についての具体的なルールの質疑応答も行われました。

現在チャレンジ・ザ・ゲームは16種目ありますが、ほぼ全種目の体験ができ、密度の濃い講習会でした。

新たに 普及審判員8名と推進員2名が誕生しました。今後のご活躍を、お願いいたします。

